

私の幼稚園

水島さゆり



— 歌の巻 —

作者

園長、時雄。

おもちゃの動物——熊、象、兎。

人形——花子、ジム君、首振人形、

太郎ちゃん、西洋の姿さん、

キウビイ、たんぼの案山子。

作歌

時雄 つくる

○

どんぐり ぼつとん、

ころ くくく

お山の上から ころ くくく。

○

親牛「もう」と鳴け、

小牛も「もう」と鳴け、

もうく親牛、

もうく小牛。

熊つくる

来た来た 金太郎さん、

金、金、金太郎さん。

象つくる

あくれ、あせんべあくれ、

私はおせんべだ——いすま。

兎つくる

あたちの お目目、
赤いでしょ。

花子つくる

朝顔咲いた、
七つ咲いた。

ジム君つくる

僕裸だよ、僕洋服ないんだ、
裸でもかぜひかないよ、
僕つよいんだ。

首振人形つくる

隣の水島さん何してた、
眼鏡をかけて本読んでた。
隣の水島さん何してた、
歌を歌つて庭掃いてた。

太郎ちゃんつくる

あ三時 なーに、

甘栗 みーつ、

お團子よーつ、

お月さん欲しいか、

うーまいよ。

洋西の婆さんつくる

水くみ婆さん きつこんく、

お水は冷たい きつこんく、

二つのバケツに きつこんく、

一ぱいくんだよ きつこんく、

こばしやいやだよ きつこんく。

キウビイつくる

兵隊さん タツタカタ、

お馬に乗つて タツタカタ、

兵隊さん トテチチタ、

鐵砲かついで トテチチタ。

たんばの案山子つくる

ほい、ちゆうすけほい、
ほい、かん三郎ほい、
ほい、ほい、ほい、ほい。

園長つくる

花すゝき

野に出でて薄を採らむ秋萩の

赤きも添へむ月の十五夜

むさし野のすゝきの原に君と来て

白雲を見る秋はたけたり

白雲の浮べる見えて牛の行く

野路の薄の穂はうすあかし

秋の日はうすづきにけり川ぞひの

長きすゝきの路をわれゆく

箱根路に薄の原を見出でたり

銀の波寄る海を見出でし

秋たけなは

晴の衣ぬぎて夜更けし郊外の

小暗き窓にこぼろぎを聞く

吾がさす橙色の絹傘に

虫一つ來ぬくろき眼をして

をみなへし河原なでして籠にさして

火ともし頭の心ときめく

秋ふけて柿いろづかむかの森の

椋鳥鳴かむ遠きふるさと

榛の木に怪しき聲の百舌の鳴き

空のかなたを雲の流るゝ

*

*

*

*

*

*